

平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）

【平成 30 (2018) 年 7 月 5 日～7 日】

■気象の概要

7 月 5 日から西日本に停滞した梅雨前線の活動は活発になり、台風 7 号の影響もあって暖かく湿った空気が供給され続け、西日本を中心に全国的に広い範囲で大雨となりました。中国地方では降り始めからの雨量が 450mm を超え、昭和 47 年 7 月豪雨以来、約 50 年ぶりの記録的な豪雨となりました。7 月 6 日午後 7 時 40 分には、数十年に一度の大雨が予想される場合に出される「大雨特別警報」が広島県、岡山県、鳥取県に発表されました。この大雨では、広島県、岡山県を中心に多くの観測地点で 24 時間、48 時間、72 時間降水量が観測史上 1 位を更新しています。昭和 47 年 7 月豪雨では、日本海側に多くの降雨がありましたが、今回の豪雨では中国脊梁山地南側や瀬戸内海沿岸で雨量が多くなっています。また、いくつかの地域・時間帯においては、局地的に線状降水帯が形成され、激しい雨が数時間降り続き、周囲に比べてさらに雨量が多くなっているところもあります。

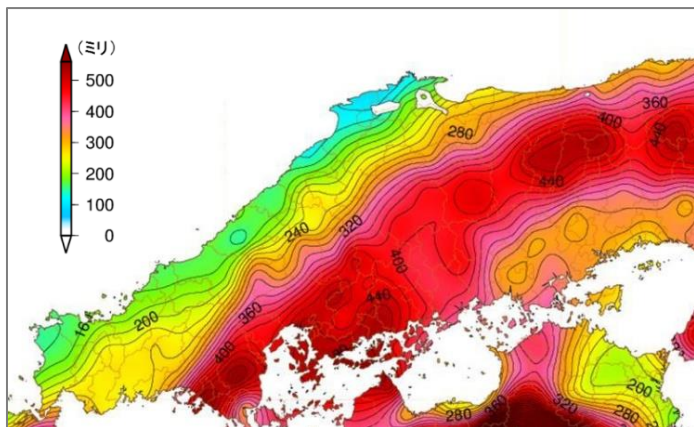
全国的に広範囲にわたって被害をもたらした 6 月 28 日から 7 月 8 日にかけての一連の豪雨について、気象庁は「平成 30 年 7 月豪雨」と命名していますが、甚大な被害を受けた地域を明らかにするため報道機関等では「西日本豪雨」という呼称も広く使われています。

■7月5日～8日の雨量

(mm)

日	広島	呉	東広島	庄原	新見	倉敷
7月5日	87.0	67.5	72.5	123.5	153.0	72.5
6日	229.0	190.5	196.5	174.0	189.0	138.5
7日	101.0	178.0	117.5	86.5	87.0	64.5
8日	41.5	34.5	33.5	25.0	2.5	1.0
計	458.5	470.5	420.0	409.0	431.5	276.5

(出典：気象庁HP「過去の気象データ」)



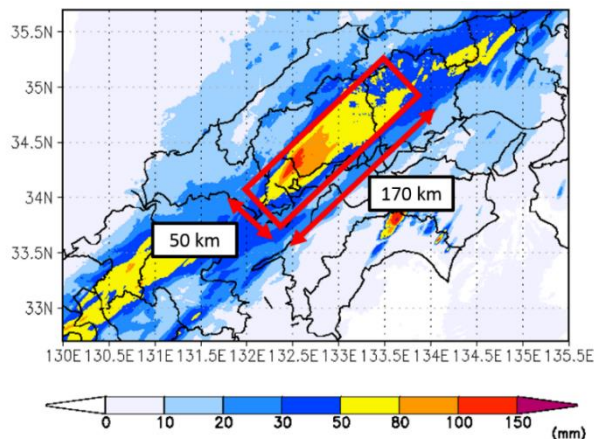
7月5日00時から8日24時までの雨量分布図

【広島地方気象台資料】

■被害の状況

この豪雨では、岐阜県から鹿児島県にかけての広い範囲で 245 人の死者・行方不明者（災害関連死を含まず）を出していますが、岡山県、広島県で 178 人と全国の 73% を占めています。また、住家被害においても中国地方では全国の 67% を占め、断水や停電などのライフラインの途絶、鉄道、道路の交通網の寸断など甚大な被害となっています。

深刻な人的被害をもたらしたのは、岡山県の大規模な浸水被害と広島県の広範囲にわたる土砂災害でした。



3時間積算雨量分布の形状に基づく線状降水帯の検出

【7月6日18時から21時の積算雨量と50mm以上の雨量分布の広がり（長さが幅の3倍以上）】【防災科学技術研究所HPより】



山体に刻まれた多数の土石流の爪痕（広島県呉市安浦町中畑）

■平成30年7月豪雨による主な被害

区 分		単 位	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国計	全 国
人的被害	死 者	人	0	0	61	109	3	173	237
	災害関連死	〃	0	0	12	24	0	36	
	行方不明	〃	0	0	3	5	0	8	8
	負 傷 者	〃	0	0	161	146	13	320	333
住家被害	全 壊	棟	0	55	4,828	1,150	23	6,056	6,767
	半 壊	〃	0	127	3,302	3,602	522	7,553	11,243
	一部破損	〃	3	3	1,131	2,119	106	3,362	3,991
	床上浸水	〃	12	0	1,666	3,158	143	4,979	7,173
	床下浸水	〃	57	60	5,446	5,799	723	12,085	21,296
非住家被害	公共建物	〃	0	0	2	0	0	2	126
	その他	〃	0	61	50	0	0	111	2403

※岡山県、広島県の死者、災害関連死、行方不明はR元。6現在の両県資料、その他は内閣府資料(H31.1.9現在)による



小田川や支川の堤防決壊により浸水した岡山県倉敷市真備町の一帯



排水ポンプ車による浸水地域の緊急排水（岡山県倉敷市真備町）

岡山県倉敷市真備町では、7月6日深夜から7日未明にかけて小田川や支流の堤防が決壊し広範囲が浸水、最大浸水深は5.4m（土木学会調査）に達しています。小田川では本流の高梁川の増水に伴い流入できず逆流するバックウォーター現象が発生し、越水により堤防が決壊したとみられます。岡山県の死者61人のうち倉敷市真備町の死者は51人で、そのほとんどが水死とされています。51人のうち65歳以上が45人、自宅でなくなった人が44人と、避難が遅れた高齢者が犠牲となっています。

広島県では7月6日夕方から7日朝にかけて、雨量が400mmを超えた芸南地域を中心に、各所で土砂災害が発生しました。広島県の死者114人中（災害関連死を除く）、土砂災害によるものが87人、うち79人が土石流によるものでした。通常は崩落しにくいとされる山頂部や比較的緩やかな傾斜地、溪流でも崩壊、土石流が多発しています。坂町の総頭川、呉市天応の大屋大川などでは、大量の土砂が河道外に水とともに氾濫する「**土砂・洪水氾濫現象**」が発生し、土砂災害警戒区域外の川沿い地域でも被害を引き起こしました。

この他、中国地方では中小河川の堤防決壊、河道埋塞、旭川、芦田川、江の川などの一級河川でも越水・溢水、内水等により各所で大きな浸水被害が発生しました。

【この項の災害状況写真は国土交通省中国地方整備局提供】



広島県安芸郡坂町、総頭川の土石流



山麓の住宅団地を襲った土石流（広島県安芸郡熊野町川角）

■中国地方の土砂災害

県名	土砂災害発生件数(件)				人的被害(人)			家屋被害(戸)		
	土石流等	地すべり	がけ崩れ	計	死者	行方不明	負傷者	全壊	半壊	一部損壊
鳥取県	4	0	14	18	0	0	0	0	0	7
島根県	0	0	14	14	0	0	0	0	0	0
岡山県	11	10	35	56	3	0	10	19	17	37
広島県	609	1	632	1,242	87	0	0	268	461	134
山口県	11	0	173	184	3	0	8	7	11	34
計	635	11	868	1,514	93	0	18	294	489	212
全国	791	56	1,734	2,581	119	0	54	364	559	472

(国土交通省：「災害情報第52報」より、H31.1.9 15:00時点)



広島呉道路と国道31号の被災現場
(広島県安芸郡坂町水尻)

この大災害を受けて、国土交通省は小田川の合流点付け替え、小田川の掘削・堤防強化等を行うために高梁川・小田川緊急治水対策事務所を、そして西部山系並びに安芸南部山系の災害防止のために広島西部山系砂防事務所を設置しました。

災害の記憶を伝える



平成 30 年 7 月豪雨 慰霊碑
(岡山県倉敷市真備町川辺)

倉敷市真備町川辺の源福寺には、明治 26 年の大洪水供養塔と並べて、平成 30 年 7 月豪雨災害の慰霊碑が建立されました。



平成 30 年 7 月豪雨災害の碑
(岡山県倉敷市真備町箭田、真備支所)

倉敷市真備町では、小田川や支流の堤防決壊により、1,300ha が浸水、最大深さは 5m 以上に達しました。このため、死者 60 名以上（関連死含む）、全壊・大規模半壊家屋 5,700 棟以上という甚大な被害を受けました。



平成 30 年 7 月豪雨 忘れまい
(広島県呉市安浦町中央 4 丁目)

呉市の旧安浦町内では、土石流、河川の氾濫で死者 4 名、家屋全壊 71 件などの被害を受けました。令和元年 7 月には、犠牲者への哀悼と災害を後世に伝えることを願って碑が建立されました。



平成 30 年 7 月豪雨 水害の碑
(広島県呉市安浦町中畑)

呉市安浦町中畑地区では、土石流により 3 名が犠牲になりました。令和元年 7 月に地元自治会により、地倉神社境内に水害の碑が建立されました。



水害碑
(広島県呉市阿賀南 9 丁目)

呉市阿賀南の冠崎地区では通称つぶ山からの土石流により死者 1 名、負傷者 2 名、全壊家屋 10 棟などの被害を受けました。また、大正 14 年に建立されて以来、住民の心の拠り所となっていた「冠崎説教所」も倒壊しました。その跡地に令和元年 6 月、水害碑と説明板、鐘撞堂が設置されました。

JR 瀬野駅には、広島市安芸区上瀬野の清山団地で土石流により犠牲となった 4 名の方々に慰霊する碑が建てられています。瀬野駅付近も大量の土砂が流れ込み山陽本線が不通になりました。



西日本豪雨災害記念碑
(広島市安芸区瀬野 1 丁目)

熊野町大原ハイツの災害碑



熊野町大原ハイツ石碑
(広島県熊野町川角5丁目)

西日本豪雨の土砂災害で12人が犠牲になった広島県熊野町の住宅団地の公園内に令和3年7月4日、「未来へ繋ぐ 尊い命の大切さ」と刻まれた石碑が建立されました。町内の中学生400人が考えた中から、遺族の意向を踏まえて刻まれた言葉です。



矢野小学校石碑
(広島市安芸区矢野)

「忘れない あの日 あの刻 絆の輪」一。西日本豪雨の土石流などで12人が犠牲となった広島市安芸区矢野の矢野小に、地元の被害を伝える石碑が建てられた(揮毫は同小の卒業生の野田有沙さん)。



小屋浦公園に設置された「坂町水害碑」
(広島県安芸郡坂町小屋浦)

岩石は豪雨時の自然石。



水害碑の裏面



明治40年災害碑